



# イラク復興支援群活動報告

17.3.23

イラク復興支援群

## 報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 體 (3月23日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、具状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
  - ◆ 医療：日英CIMIC会議・幕僚調整参加等
  - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
    - ・ 学校の改修：
      - 7カ所（ルメイサ、サマーワ×3、マジット、スウェイル、ナジミ）での役務作業
    - ・ 道路の改修：
      - 2カ所（サマーワ×2）での役務作業
    - ・ PHCの改修：
      - スワルPHC及びカラマPHC施工状況確認（サマーワ、ワルカ）
      - 別紙第1「スワルPHC施工状況確認」 別紙第2「カラマPHC施工状況確認」
      - 3カ所（サマーワ、プサイヤ、ワルカ）での役務作業
    - ・ 給水関連施設の改修：
      - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
    - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
      - 6カ所（サマーワ×5、ルメイサ）での役務作業
    - ・ 清掃事業関連施設の改修：
      - 1カ所（サマーワ）での役務作業
  - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
    - ・ アル・カワリズミ小学校 冷水器輸送完了式（サマーワ）
    - 別紙第3「アル・カワリズミ小学校 冷水器輸送完了式」
    - ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

全 體 (3月23日)

- 宿营地関連施設の整備
  - ・ 耐弾性強化施設構築作業
  - ・ 耐弾性強化施設配電作業
  - ・ 医務室耐弾補修作業
  - ・ コンテナ後送作業
- 宿营地外活動
  - ・ 対外調整（小学校冷水器輸送完了式<サマーワ>）
  - ・ 対外調整（小学校現地偵察、調整<サマーワ、ワルカ>）
  - ・ 人員輸送（復路・CV~宿营地）
  - ・ 施設支援（PHC施工状況確認<サマーワ、ワルカ>）
  - ・ 会議・会合・情報収集等（日英CIMIC会議・幕僚調整<キャンプ・スミッティ>）
  - 別紙第4「日英CIMIC会議・幕僚調整」
  - ・ ルートチェック及び偵察（サマーワ）
- その他
  - ・ 群長、アル・カワリズミ小学校 冷水器輸送完了式参加（サマーワ）
  - ・ 対外発信関連：FUJ14月号原稿調整（宿营地）
  - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ23両に対し、254t（約5,600人分）が配水された。
  - ・ 3月23日まで計7,690t（約1700,000人分）を配水（4.5リットル/人・日換算）
  - ・ 3月23日現在の雇用人員
    - 通訳48名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、し尿処理3名、清掃3名、耐弾性コンテナ作業50名、医療（PHC等）45名、学校修復90名、道路補修39名、青年・スポーツ関連132名、清掃事業関連28名、給水関連12名、役務監督補佐者4名、ハイヤー20名、床屋2名、弁護士1名、アドバイザー2名、電気工1名

計524名

全 般 (3月23日)

- ② クウェート分遣班
  - ・ 戦力回復支援
  - ・ 国境通過支援
  - ・ 輸送準備・車両点検
  - ・ サマワ業務支援
  - ・ 業者調整
- ③ バクダッドLO
  - ・ 恒常業務
- ④ バスラLO
  - ・ 恒常業務
- ⑤ スミッティLO
  - ・ 恒常業務
- ⑥ クウェート大使館LO
  - ・ 恒常業務

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(3月23日成果/学校・道路)

<p>アル・ネラス小学校(サマワ)(1/17~3月下旬)</p> <p>活動全般 授業2層建て、電気配線、トイレ補修 7名/日雇用</p>	<p>アル・メイウ女子中学校(ムイ)(10/27~3月中旬)</p> <p>活動全般 壁・トイレ、電気配線の補修等 23名/日雇用</p>
<p>アル・ハッティン小学校(サマワ) (2/2~3月下旬)</p> <p>活動全般 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 40名/日雇用</p>	<p>アル・ソレイン小学校(マフタ)(1/8~3月下旬)</p> <p>活動全般 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 0名/日雇用</p> <p>活動状況 地権者問題により、工事停止中</p>
<p>アル・ホル小学校(サマワ) (2/4~3月下旬)</p> <p>活動全般 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 20名/日雇用</p>	<p>アル・イン・ムスターハム小学校(スリム) (1/8~3月下旬)</p> <p>活動全般 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 0名/日雇用</p> <p>活動状況 アルバインの影響により、本日工事終了</p>
<p>サマワ市内道路(アヒンクア及び半三叉路道路) (2/1~3月下旬)</p> <p>活動全般 砂利経路及びアスファルト舗装 25名/日雇用</p>	<p>サマワ男子中学校(サマワ) (11/30~3月中旬)</p> <p>活動全般 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 0名/日雇用</p> <p>活動状況 完成点検終了</p>
<p>コミ処分場付帯道路補修(サマワ)(1/19~3月中旬)</p> <p>活動全般 付帯道路の補修、砂利経路及びアスファルト舗装 0名/日雇用</p> <p>活動状況 アスファルトの納入待ち</p>	



		人員現況																				
上段:増人員数 下段:減人員数		サマワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプ・スミヤ		ドバイ		国外		国内		(備考) 職員の実数及び増減人員の内訳				
区分	所属人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出国人員	増減人員	所在人員	帰国(復職)人員		増減人員	所在人員		
5次支援隊	481	481	20 0	481	0 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481	0 0	481	0	0 0	0	派遣要員3名、人員増減17名CVから増減	
6次警務隊	10	10	3 0	10	0 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0 0	10	0	0 0	0	人員増減3名CVから増減	
余額支援隊	109	75	8 0	75	25 8	25	4	0 0	4	4	0 0	4	1	0 0	1	0	109	0 0	109	0	0 0	業務調整KWから4名(増減中2名を含む8名)サマワ増、合計増減1名(増減)から増減、派遣要員3名、戦力復旧要員3名(サマワ)CVから増減、戦力復旧(サマワ)16名22名からCV増
合計	600	566	32 0	566	25 32	25	4	0 0	4	4	0 0	4	1	0 0	1	0	600	0 0	600	0	0 0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名をきむ  
本日のTV電話使用者数:1名(1週間の合計:20名)

		車 両															計				
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大型		浄水セット	重レッカ	溶接車	修理車
IQ	サマワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187	
	シャイバ																				1
	バスラ					1															
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	44	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	188	
KW	キャンプVA	1			2			2	1						6						12
	キャンプD-N														6						12
	計	1			2			2	1						6						24
	総計	14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200	

### 装備の現況 (武器)

		武器						
		拳銃	B9小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バズラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブドーハ							
	計							
総 計								

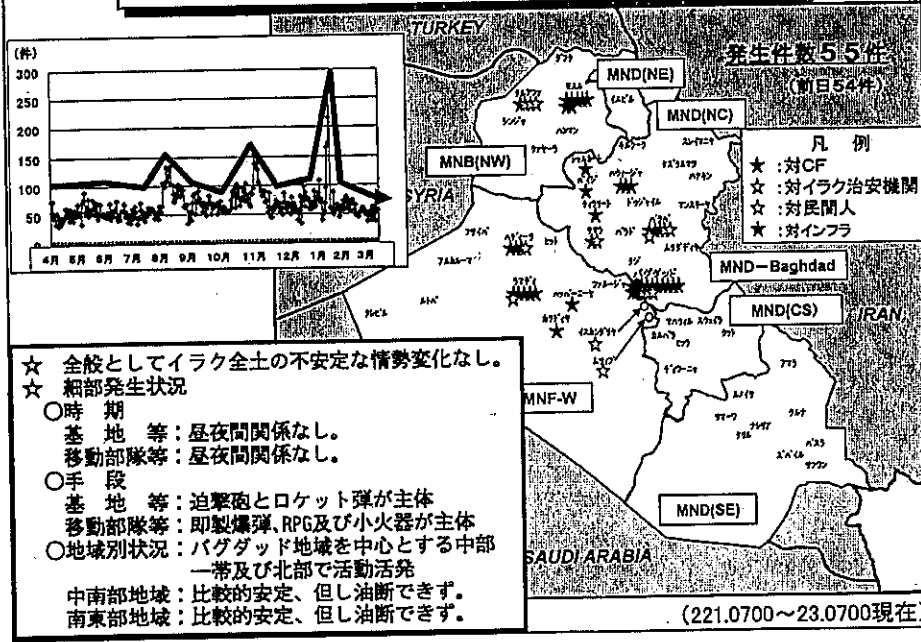
### 装備品等の可動・不可動の状況①

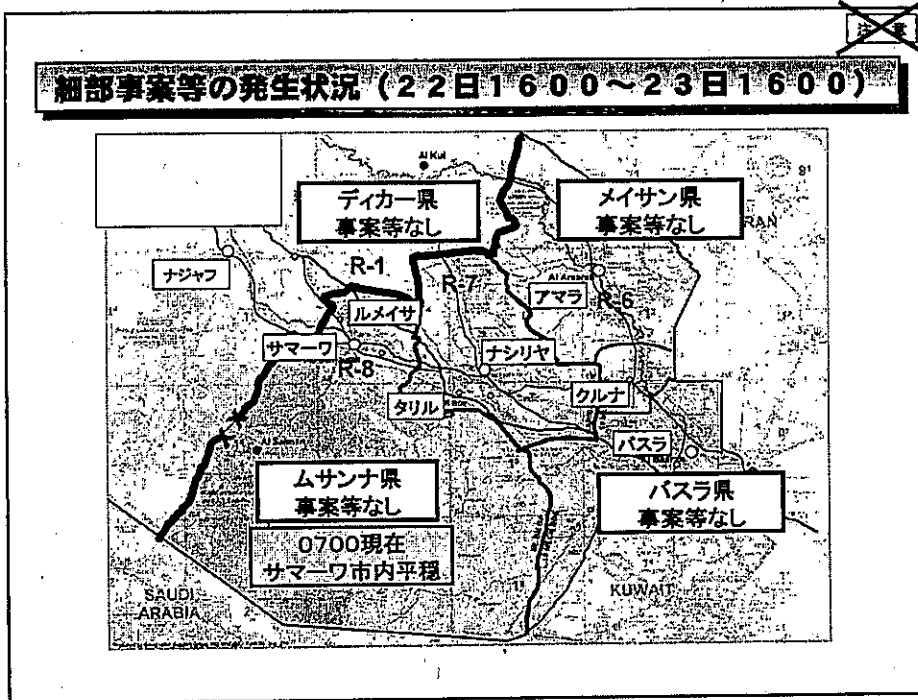
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	199	4	0	小型×2 バッテリー不良 燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPO×1底板亀裂	部品待×2 整備待 / 処置検討中
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	0	1		
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	99	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンドレイン不良×3	部品待×7 (再請求中) 整備待×6 部品待×3 (再請求中)
発動発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5 (再請求中)
発動発電機(60kw)	59	34	0	25		
発動発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中

**装備品等の可動・不可動の状況②**

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離監視装置(V7)						
微光監視装置(V3)						
空中監視装置						

**事案等の発生状況(昨日)**





X

**23日毎日「サマワのサドル師支持者ら、陸自撤退を要求」**

【記事の内容:23日サマワ共同】

- サドル師支持者らはサマワで陸自撤退を求める英語の声明を発表
- 声明は、サドル事務所代表のムハンナド・ガラウイ師の名前で発出
- サマワの停電などがいっこうに改善されないことから、陸自の活動には意味がなく、日本国民は陸自撤退を求めるべき

【現地確認事項】

- 「英語の声明」の存在は事実(次スライド参照)
- ガラウイ師が手交(一部の外国メディアに対して渡したもので地元メディアには渡っていない模様:どのメディアか詳細は不明)
- 英語で書いた理由は、ムサンナ県のサドル派事務所は意識改革を実施中であり、英語で主張できることを示したかったとのこと
- 陸自の活動を批判し、陸自を攻撃するような意図で書いたものではない→多国籍軍・アメリカを信用するな、占領されたことを忘れるな  
という意味
- サドル派は県の組織、特に警察に協力するという意向



<p>表</p>	<p>裏</p> <p>ガラウィ師のサイン</p>
----------	---------------------------

- ・本文には、広島、長崎の原爆に関する記述あり
- ・記事にある「陸自の活動には意味がなく」、「日本国民は陸自撤退を求めるべき」との記述は見当たらない

- 本声明の意図は不明(少なくともサドル派中央の指示ではない)
- ガラウィ師は最近サマワのサドル派代表に就任  
→金曜礼拝での説法はないことからその実態等は不明
- 本件に類似した事例は1月16日にも発生(このときはアラビア語版)
- 内容的には宗教家が記述するようなものではなく、アラビア語版もなく、地元メディア関係者、県関係者、一般市民も知らないことから、何らかの意図を持った者が意図的にサドル派に働きかけた可能性

<p>ハッサーン知事のインタビュー記事(シーア派紙)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「アル・アルファン」紙</li> <li>・イスラミック・ダアワ党の機関紙</li> <li>・選挙後新たに創刊(3/12) →知事選直前</li> <li>・月2回発行予定(部数は調査中)</li> <li>・街中ではほとんど見かけず →関係事務所等のみ配布か</li> </ul>

ハッサー知事のインタビュー記事(シーア派紙)

【記事の概要】

- 最も重要な計画が自衛隊と日本政府によって達成されている
- 自衛隊は、19,132,331ドルを医療部門に与えてくれた
  - サマワ総合病院等への医療設備
  - 32台の救急車の供与
  - 32のPHCの再建と補修等
- 日本政府は道路の分野においても(各場所を挙げ)合計54Kmを建設した
- そう遠くない未来にもっと大きなプロジェクトが達成されるだろう。なぜならば我々は日本の友だちと合意に達している

السيد المحافظ في ضيافة العرفان



في لقاء استمر بين الساعة والستة على جدران محافظة العرفان، جرت في 19/3/2003 لقاء بين السيد المحافظ والوفد الذي يقوده السيد... (transcription of the article text)



... (transcription of the article text) ...

- 内容については、正確ではないもののほぼ事実
- 第一義的には日本への謝意というより、自己の功績のアピール狙いの可能性(知事のSCIRIとダアワ党は知事選出において協力)

イラク全土の全般情勢評価 (3.23)

(3月19日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) 国民議会開催に連携した施設・多国籍軍・イラク治安機関への攻撃急増の傾向は特に見られず(開催前と同程度で推移)	3/19追加
スンニ派過激派	数週間は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし)	
バース党残党	「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	選挙結果はテロリストにダメージを与えず→暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵の再編成、再構築実施→イラク軍への参加も企図	
特記事項(トレンド)	焼夷効果を狙ったIEDの使用が再開 →多国籍軍車両の重装甲化への対抗策とみられる 爆発物処理隊を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件) →最初のIEDの下に2番目が隠されており爆発物処理隊の処理時に爆発	

**イラク南東部の全般情勢評価 (3. 23)**



(3月14日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	比較的安定、但し、多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報あり	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続</li> <li>●アマラ、ナシリアで多国籍軍、イラク治安部隊への攻撃連続発生</li> <li>●アルバイーン最終日、シーア派モスク等を狙った自動車爆弾攻撃の可能性(カルバラ・南部都市)</li> </ul>	3/13追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱</li> <li>●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 → 最近の攻撃は同勢力関与の可能性あり</li> <li>●民兵組織の再構築→将来的にはイラク治安部隊参加を企図</li> </ul>	3/13修正
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出しカージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生</li> <li>・ASRサークル路面状況悪化(MSRタンバは4/20頃開通予定)</li> </ul>	
タリル空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂に対する自爆テロ情報(業者に偽装)あり</li> <li>・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒</li> </ul>	3/14追加

**ムサンナ県の全般情勢評価 (3. 23)**



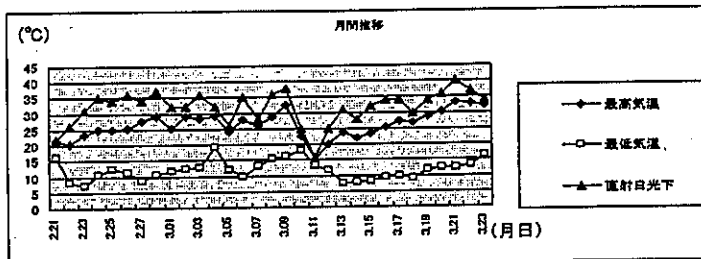
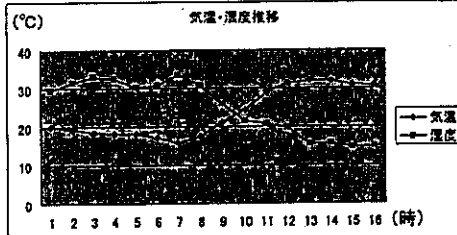
(3月15日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的安定、しかしながら犯罪レベルの事案は発生</li> <li>・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か →明確な敵意等の表示は市内で見られず</li> </ul>	3/13追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり</li> <li>・アルバイーン最終日、シーア派モスク等を狙った車両爆弾攻撃の可能性(カルバラ・南部都市)</li> </ul>	3/12追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談)</li> <li>・サドル派民兵については特異動向なし</li> </ul>	3/5追加
部族関連	土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性	
選挙関連	・ハッサーニ氏再選により、突発的なデモ等の発生の可能性あり→市内活動は注意	3/15追加

## 現地の気象情報

### 報告内容

日の出 : 0559  
 日の入り: 1813  
 天 候 : 晴れ  
 気 温 : 最高32.0°C、最低16.1°C  
           : 最高34.0°C(直射日光下)  
 湿 度 : 25.0%  
 風 速 : W 3~8 m/s



## 3月24日(木)の活動予定

サマー本隊			
群長(J1)	業務支援隊長(J2)	対外調整(新規補修事業 現地調整)(J21)	対外調整(J22)
0810-0830: モーニングミーティング			
1140-1300: 南軍大隊長との昼食会 1300-1400: 群本部ミーティング	0745: 宿営地発 0800-0810: サマーワ看護学校視察 0850-0900: スウェイル〜ワルカ道視察 1040-1050: コルトバ小学校視察(ヒドル) 1100-1110: ヒドルPHC視察 1140-1205: アルナツ小学校視察(ダラージ) 1300: 宿営地着	0730: 宿営地発 0745-0805: サマーワ看護学校現地調整 0845-0855: スウェイル〜ワルカ道現地調整 1035-1045: コルトバ小学校現地調整(ヒドル) 1055-1105: ヒドルPHC現地調整 1135-1205: アルナツ小学校現地調整(ダラージ) 1305: 宿営地着	0735: 宿営地発 0800-0810: キャンプ・スミッティ(J9を分離) 0845-0945: ハサナインPHC現地偵察(サマーワ) 1015-1100: ゴミ処分場付帯道路施工確認(サマーワ) 1115-1125: キャンプ・スミッティ(J9と合流) 1150: 宿営地着
1615-1645: イブニングミーティング			
	人員23名(復25名) 車両5両 (LAV×4) (HMV×1)	人員15名(復13名) 車両3両 (LAV×3)	人員21名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)

**3月24日(木)の活動予定**

サマーワ本隊			
医療支援(J8)	会議・会向・情報収集等 (前夜軍定例情報収集)(J9)	J2ルートチェック(J101)	ルートチェック及び偵察(J102)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0800: 宿営地着 0830-1230: 総合病院医療・器材 技術指導 1300: 宿営地着			
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
人員23名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)			

**3月24日(木)の活動予定**

サマーワ本隊			
GRF(J20)	役務警備員配置(S6)	警衛(S11)	浄水活動(S12)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
	0530: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地		0800-1600: 大量送水システム 整備・運転
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
	警備中隊計画		給水隊計画

**3月24日(木)の活動予定**

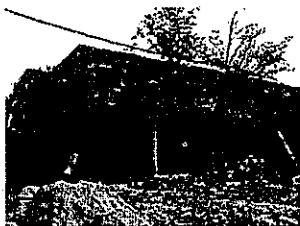
サマーワ本隊			
宿営地内工事(S13)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)	
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0730-1600: 耐弾性強化施設構築作業 0800-1600: 耐弾性強化施設配電作業 0800-1600: 医務室耐弾補修作業 0800-1600: コンテナ後送作業	0800-1600: 宿営地内業務	0730-0730	
1615-1645: イブニング・ミーティング    1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)			
施設隊等計画	群S-3計画	群S-2計画	

**3月24日(木)の活動予定**

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦力回復支援</li> <li>・ 国境通過支援</li> <li>・ バスラ業務支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恒常業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恒常業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恒常業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恒常業務</li> </ul>

スワルPHC施工状況確認

別紙第1



スワルPHC全景



PHC内部の状況



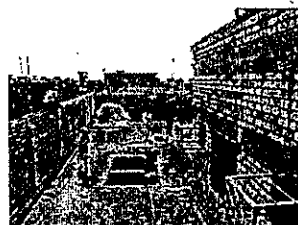
施工状況確認中の隊員

ガラマPHC施工状況確認

別紙第2



ガラマPHC全景



PHC外部の状況



施工状況確認中の隊員

アル・カワリスミ小学校 冷水器輸送完了式

別紙第3



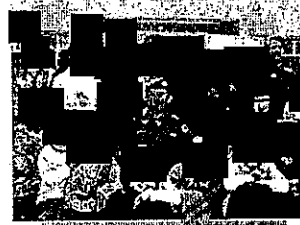
冷水器の設置



子供代表によるスピーチ



群長スピーチ



子供達に囲まれる群長

日英CIMIC会議・幕僚調整

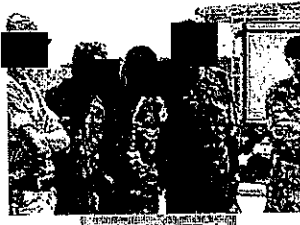
別紙第4



日英CIMIC会議



メデイバッグへり搭載物品の展示説明



研修中の医官



メデイバッグ用へりの前での記念撮影



エミグバテカ (230810)

○ 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認

○ 警備態勢: [ ]

○ 群長指導事項:

一業務を実施する上においては、各種の手続き、要領等、その業務のシステムそのものを良く調べ、掌握する必要がある。その上でどこが権限を持っており、自分にできることは何なのかということを確認した上で業務を実施することが重要である。

一本日の日英軍備調整においては、[ ]の認識についてもう一度良く確認・調整するようにせよ。双方の認識をよく詰めて、英軍側と統一するとともに、その結果について報告せよ。

一物品の管理について、第4科・厚生等は、何が、どれだけ、何処にあるのかについて、その経緯も含めて良く掌握するようにせよ。相互に良く連携を取り、宝の持ち腐れということが生じしないよう、物品の有効活用に努めよ。

エミグバテカ (231615)

○ 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認

○ 警備態勢: [ ]

○ 群長指導事項:

一業務における調整とは、自分の意志を持って相手に働きかけることである。ただ上級部隊等から言われた通りにするというようなことは調整ではない。調整の場においては、自らのニーズを相手側に明確に伝えることが重要であり、各担当者は責任感を持って自分の意志を実現するよう努めよ。

クウェート分遣班業務報告

全 般	
○国内情勢等: [ ] ○人員・武器等異状なし ○人員報告: 所属人員24名、事故人員6名(サマーフで業務支援6名) ○戦力回復支援、国境通過支援、輸送準備、業者調整等を実施	現在員18名 ○天候: 晴 ○気温: 18~29℃ (直射日光下の最高気温35℃)

本日の活動状況	
恒常業務	その他
○戦力回復支援(キャンプバグジア~キャンプドール) 戦力回復準備支援(換金、日用品購入等) ○国境通過支援(ナビスタ) 警備中隊(上り)の国境通過支援 ○輸送準備・車両点検(クウェート市内) サマーフからコンテナを輸送する車両の準備・点検	○サマーフ業務支援 受入係長以下4名が陸路で移動し、サマーフで業務支援 ○業者調整 役員ドライバーの契約

明日の予定	
恒常業務	その他
○戦力回復支援(キャンプバグジア~クウェート国際空港) ・戦力回復者を空港まで輸送 ・次週の戦力回復について旅行者と調整及び支払 ○国境通過支援(ナビスタ) LAVにより役員コンボイを誘導、国境通過後直ちに帰隊	○バスラ業務支援 班長以下4名がLAVで陸路移動し、バスラで業務支援 ○戦力回復 厚生・渉外係長以下2名

その他(教訓・要望事項等)

特になし。



バグダッドLO日々業務報告(3月23日1900)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーフに直接影響を及ぼす脅威 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーフ及びバスラは [REDACTED]、バグダッドは [REDACTED]、モスルは [REDACTED]
2 特記事項	・5次群長から [REDACTED] MNC I 副司令官に対するサンキューレター手交
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間(0900-2100)勤務: [REDACTED] 夜間(2100-0900本日より)勤務: [REDACTED] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア [REDACTED] 及び [REDACTED] に関する情報収集(別添資料参照) イ C2スタッフ送付件数 7 件 (3) 車両整備及び月使用料支払い (4) Coalition LOミーティングにおける日本紹介資料作成
4 明日の予定	(1) 情報収集及び業務調整 (2) [REDACTED] 及び [REDACTED] に関する調査
5 その他(備考)	



バスラLO日々業務報告(3月23日1900)



区分	内容
1 警戒態勢等	バスラ空港 [REDACTED] ・脅威レベル: [REDACTED] ・警戒態勢 [REDACTED]: [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 輸送梯隊等不測事態対応待機: CV~サマーフ (2) 情報要求対応等 ア ムサンナ、MSR(タリル空港を含む)関連脅威 イ 中期・長期情報要求対応 アシユール・アバイン関連情報収集、SSR(ISFの戦力化の状況)、豪軍展開関連 (3) 定例情報収集 [REDACTED] (4) 定例会議への出席: 司令部朝会議・夕会議、J2認識統一会議、J3認識統一会議 (5) CIMIC会議参加
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席
5 その他(備考)	特になし